



キッチンから、笑顔をつくろう

社会・環境報告書

2018

ダイジェスト



## contents

---

- トップメッセージ ……………2
- 経営理念 ……………3
- 会社概要 ……………4
- 経営思想 ……………5
  - 社会との接点
- 組織統治 ……………7
  - コーポレート・ガバナンス
  - 内部統制/コンプライアンス/リスクマネジメント
- 労働慣行 ……………9
  - 働きやすい職場づくり/人材育成
  - ダイバーシティ/労働安全衛生
- 社会的役割 ……………11
  - 社会とのかかわり
- 公正な事業慣行 ……………13
  - 資材調達
- 社会・環境配慮型商品の開発 ……………14
  - クリナップのモノづくり
  - 業界初のアイデアと技術
- 環境報告 ……………17
  - 環境方針/環境保全活動推進体制
  - 環境活動
  - 環境教育・保安防災への取り組み
  - 環境負荷の低減
- 環境保全活動の沿革 ……………22
- トピックス ……………23

### 編集方針

本報告書は、2005年に「環境報告書」として発行以来、記載内容の充実を図ってきました。2017年版からクリナップの社会的な活動の取り組みを開示するためタイトルを「社会・環境報告書」に変更し、新たに経営思想、組織統治、労働慣行、社会的役割、公正な事業慣行の項目を加えております。また、第三者意見として、特定非営利活動法人循環型社会研究会理事の山口民雄氏よりご講評をいただいております。

### 社会・環境報告書の範囲

報告する対象期間/ 2017年4月1日から2018年3月31日を基本としていますが、一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含んでおります。

報告するデータ/ 2013年度から2017年度までの5年間のデータを基本としていますが、一部該当しないものもあります。

報告する対象組織/ この報告書の対象組織は下記の通りです。

●クリナップ株式会社/ 本社・いわき部門/ 生産工場(四倉工場、鹿島システム工場、鹿島工場、湯本工場、岡山工場)

●関連会社/ 株式会社クリナップステンレス加工センター(野田工場、鹿島アート工場)/ クリナップロジスティクス株式会社/ クリナップテクノサービス株式会社/ クリナップハートフル株式会社/ クリナップソリューション株式会社

参考ガイドライン/ この報告書は環境省「環境報告ガイドライン2018年版」「環境会計ガイドライン2005年版」、社会的責任に関する国際規格「ISO 26000」を参考にしています。

## 企業理念は「家族の笑顔を創ります」 ～創業70周年に向けて～

クリナップの創業は1949年。長年にわたり、キッチンをはじめとする水まわり商品をつくり、家族の暮らし方とともにお届けしてきました。そして、私たちは企業理念を強く意識し、ここまで成長することができました。

“私たちは何のために存在し、企業活動を続けるのか”。この基本となる考えを表すのが企業理念「家族の笑顔を創ります」であり、クリナップの企業活動のすべてが、この理念の実現に向けられています。

数十年を経て今なおクリナップが存続していただけるのは、社会に生かされ必要とされてきたから。その謙虚な心なくして私たちの未来はないと考えています。

この理念のもとでクリナップは、社会、環境に配慮した新しい商品をご提供してまいりました。2018年2月発売の「CENTRO (セントロ)」では、「洗エールレンジフード」の自動洗浄機能を強化し、当社比で使用する水量を従来の約2分の1の節水を実現しました。また、「流レールシンク」は、シンク内の野菜くずなどを新発想の水路「流レール」によって排水口まで流すしくみであり、洗いもの作業におけるお客さまの悩みの声を何とかしたいという想いで開発しました。2018年9月に発売した「STEDIA (ステディア)」では、従来のステンレス製に加え、人工大理石製の「流レールシンク」も設定し、お客さまのニーズに合わせて商品選択を広げました。

社会とのかかわりでは、東日本大震災の福島県内における復興の一環として「公益財団法人クリナップ財団」の設立に寄与し、同財団は給付型奨学金制度によって福島県の学生を支援しています。また、特例子会社のクリナップハートフル株式会社では、クリナップの創業に由来した地である荒川区西日暮里に障がい者雇用創出の場として「クリ夫のパン屋」を2016年11月にオープンし、地域住民の皆さまに焼きたてのパンをご提供してまいりました。

経営としての事業活動のなかに社会性や文化性をもって、皆さまからご好意をお持ちいただき、常に企業理念を忘れず、自らの家族や社会に誇れる企業をこれからも目指してまいります。

本誌は、「2017社会・環境報告書」に、労働安全衛生、社会とのかかわりあいなどの情報を追加し、皆さまにクリナップを知っていただき、社会からの信頼を高めてゆくために「2018社会・環境報告書」として作成いたしました。クリナップの事業活動のなかの社会性、文化性、環境配慮について詳しく紹介していますので、ご一読いただければ幸いです。



代表取締役会長  
井上 強一

## 経営理念

おかげさまでクリナップは、2018年に創業69周年を迎えました。

2009年の創業60周年に制定した企業理念「家族の笑顔を創ります」を胸に、全社員一人ひとりが変革をはかり、ころを一つにして、クリナップを創造していきます。

### 創業者理念「五心」

#### 一、創業の心

我々は一家一族の精神に則り喜びも苦しみも傾ち合い永遠に発展する会社をつくらねばならぬ。

#### 一、親愛の心

親愛の心は家庭・企業・社会の基である。人との心の繋がりを大切に、信頼し努力しあって生きよ。

#### 一、創意の心

創意・開発は我が社の生命である。この心を忘れることなく会社の繁栄をはかり社会に貢献せよ。

#### 一、技術の心

新たな市場の創出のため、広く技術を内外に求め集約せよ。そして技術を生む知恵を磨け。

#### 一、使命の心

我が社の使命は社業を通じ社会に奉仕することにある。常に感謝の心を忘れることなく邁進せよ。

### 企業理念

#### 「家族の笑顔を創ります」

この理念は、クリナップが現在あるいは将来実践する活動の方向性や領域、提供する価値、使命などを凝縮しています。全社員で共有し実践すること。本当の笑顔を創り上げお客様さまや家族、そして社会へと拡げていくことを意味します。私たちクリナップは、これまでの「五心」に代表される経営信条等を精神的規範として忘れることなく、持っている力全てを結集し、変革に挑戦し続けます。

創業者理念  
「五心」

企業理念  
「家族の笑顔を創ります」

### 行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

### ブランドステートメント

#### 「キッチンから、笑顔をつくろう」

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす  
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

### 活動方針

### 行動理念

「私たちは、心豊かな食・住文化を創ります」

「私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます」

「私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります」

「心豊かな食・住文化を創る」とは、注力すべき事業領域と提供価値を示しています。当社は、従来からキッチンを中心として、事業を営んできました。キッチンは、私たちの生活の中で食と住の交点にあります。おいしいもの、心のこもったものをつくり、食べ、そして語らい、すごす。家族が家庭を実感するひとときです。クリナップは、キッチンこそが家庭づくりの核であると考え、笑顔が絶えない家族形成に貢献できる価値の提供に尽力します。

### ブランドステートメント

#### 「キッチンから、笑顔をつくろう」

クリナップが発信するメッセージは、「キッチンから、笑顔をつくろう」です。このブランドステートメントのもと、キッチン分野で絶対的なポジションを目指します。「キッチンと言えばクリナップ」のブランドイメージをより強固なものにしていきます。

## 会社概要

クリナップは、1949年、座卓を製造販売する事業から始まりました。その後、キッチンメーカーへの事業シフトをしてから、暮らしの中に新製品を送り出し続け、新しい暮らしを提案し、今では、システムキッチン、システムバスルーム、洗面化粧台などの水まわり住宅設備機器の専門メーカーとして事業活動を行っています。



本社正面

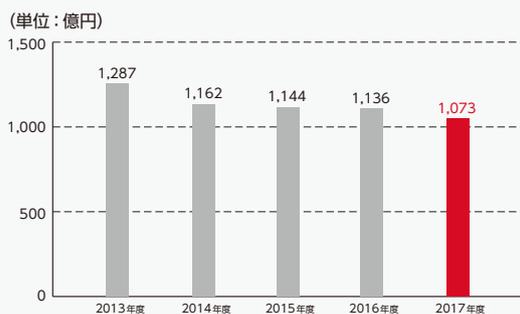
## 会社概要

|       |  |
|-------|--|
| 社名    | クリナップ株式会社  |
| 英文社名  | Cleanup Corporation                                      |
| 本社所在地 | 〒116-8587<br>東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号<br>電話03-3894-4771 (大代表) |
| 創業    | 1949年10月5日   |
| 会社設立  | 1954年10月5日   |
| 上場    | 1990年2月6日 東証2部上場<br>1991年9月2日 東証1部指定                     |
| 資本金   | 132億6,734万円  |
| 決算期   | 3月(年1回)  |

業績の推移 売上高、経常利益／売上高経常利益率、当期純利益／売上高当期純利益率、総資産について報告します。

連結：本体●クリナップ株式会社、生産／関連1社●株式会社クリナップステンレス加工センター、商社／関連1社●井上興産株式会社、運輸／関連1社●クリナップロジスティクス株式会社、取付・設置・サービス／関連1社●クリナップテクノサービス株式会社、人材派遣・介護／関連1社●クリナップキャリアサービス株式会社、障がい者雇用／関連1社●クリナップハートフル株式会社、情報システム／関連1社●クリナップソリューション株式会社、中国●可麗娜厨衛(上海)有限公司、可麗必斯家具(瀋陽)有限公司

### 売上高(連結)



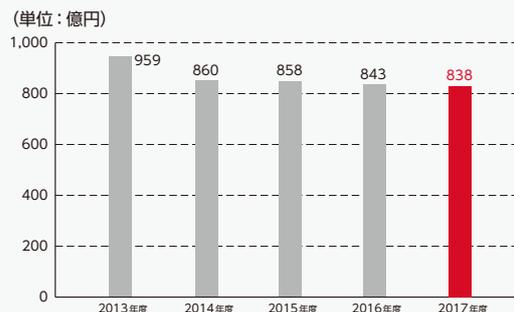
### 経常利益／売上高経常利益率(連結)



### 当期純利益／売上高当期純利益率(連結)



### 総資産(連結)



## 社会との接点(1)

### ■ 企業理念は「家族の笑顔を創ります」

クリナップの創業は1949年。長年にわたり、キッチンをはじめとする水まわり商品をご提供してきました。

“私たちは何のために存在し、企業活動を続けるのか”。この基本となる考えを表すのが企業理念「家族の笑顔を創ります」です。

企業理念である「家族の笑顔」には3つの意味をこめています。ひとつはお客さまや社員など“個人の笑顔”、そして私たちが大切にしている“家族の笑顔”。もうひとつは個人や家族の集合である“社会の笑顔”です。

クリナップは「個人・家族・社会の笑顔」を増やし、健全な社会づくりに貢献するために企業活動を行っています。



### ■ クリナップは「社会の公器」

創業から数十年を経て、いまなおクリナップが存続しているのは、社会に必要とされ生かされてきたからです。その謙虚な心なくして、将来はないと考えています。

企業だけが栄えるのではなく、社会から必要と認められ、社会も栄える。そうありたいとクリナップは考えています。

### ■ キッチンの代名詞へ

キッチンは、単に食事をつくる場所や道具ではありません。家族の絆を育み、子どもがおとなへと成長する親子の大切な場、それがキッチンです。

私たちはキッチンの専門家として、誰よりもキッチンの役割の大切さを考え日々研鑽しています。「キッチンといえばクリナップ」。そう思っていただけよう努力し続けます。



### ■ 食・住文化の交点から

食べる・住まう、つまり食・住の文化の「交点」にあるもの、それがキッチンです。その「交点」から食・住に関わるニーズやトレンドを研究し、商品づくりをしてきました。

これまででもこれからも、色々な人々と交流し社会的、文化的に意義のある領域に活動を広げ事業に活かしてまいります。

### ■ 社会から愛される企業へ

クリナップやシステムキッチンをより知っていただくために、絵本『世界にひとつのキッチン』を2014年9月30日発刊しました。お客さまがショールームで商品を選び、商品が製造・配送・取付される工程を、子どもの目線で描いた絵本です。

各地の小学校や図書館に寄贈し、大変よろこばれました。また、公式キャラクター「クリ夫」は、各地のイベントやショールームで親しまれています。



### ■ ISO9001 (品質) への取り組み

クリナップは創業期から品質にこだわってきました。そして、1998年にはキッチンメーカーで初めて、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を認証取得しました。

物流を担う子会社、取付・設置・アフターサービスを担う子会社も認証取得を完了しています。

2015年版への対応は、2018年4月に完了しており品質方針に基づき、品質への取り組みを日々強化しています。

#### 品質方針

1. お客さまの安全を第一に考え、製品安全の確保こそが最優先の品質であるとの認識を共有し、お客さまに安心してご使用頂ける高品質の製品を提供します。
2. 営業、開発、生産、購買、物流、取付・設置、アフターサービスの各プロセスにおける品質の監視および是正・予防処置活動を徹底して行うことにより、トータル品質の強化を推進します。
3. 法令、規制要求事項を順守し、社会から信頼される企業を目指します。
4. 教育・訓練を強化することにより全従業員の力量をさらに高めて品質の向上に努めます。
5. 品質マネジメントシステムの有効性の改善を継続的にを行います。
6. お客さまに感動していただける品質価値を創造するために、お客さまの声を積極的に取り入れて品質に反映させ、お客さま満足度の向上に努めます。

2018年4月1日現在

## 社会との接点 (2)

### ■ 一個づくりの多品種少量生産「CPS」

クリナップの企業理念を実現する、独自の製造・販売システムが「CPS(Cleanup Production System)」です。大量生産ではなく、一個づくりの多品種少量生産を基本とし、「必要なモノを・必要な時に・必要なだけつくる」ことによって、在庫ゼロ経営を目指しています。このシステムによって、高品質な商品をお手頃な価格で、スピーディーにお客さまにお届けしています。

#### ①営業／開発

全国に展開する営業担当者やショールームアドバイザーによって、お客さまからのニーズや課題が毎日吸い上げられ、開発や製造、取付・設置の各部門にフィードバックされています。

ここで得られた知恵やノウハウ、さまざまな情報は、高度なセキュリティを誇る情報システムに集約され、商品や業務の質の向上に役立てられています。

#### ②製造

お客さまからの注文情報は年間数十万件におよびます。そのすべてが、お客さまごとに発行される「生産指示カード」で把握され“世界にひとつのキッチン”がつくられていきます。

効率的な生産システムのなかであって、人の手による高い技能を必要とする「クラフツマン(熟練工) シップ」が活かされている商品も多く、他社にない独自機能や高い意匠性を実現しています。

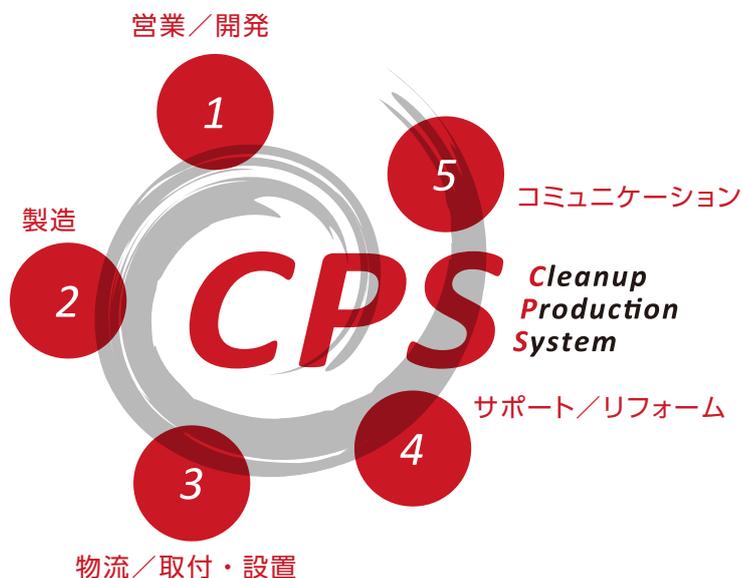
#### ③物流／取付・設置

クリナップグループには、工場で作成した商品をより早く、確実にお客さまのもとへお届けする物流専門会社「クリナップロジスティクス株式会社」と、商品の取付・設置や各種サポート、メンテナンス業務を行う「クリナップテクノサービス株式会社」があります。

ともに「CPS」のなかで顧客満足を実現するための重要な一工程を担います。年間数十万セットにおよぶご注文商品をご希望の納期にお客さまへお届けできるのも、グループ一体で技術品質やサービス向上に努めている結果です。

#### ④サポート／リフォーム ⑤コミュニケーション

キッチンやシステムバスルームは数十年間、家族とともに年を重ねていきます。ガスや電気機器などを常に安全、快適にお使いいただくためには、専門家による点検や迅速な修理・部品供給が不可欠です。近年はリフォームに関する需要も増加傾向にあり、これらのご要望にも応えられる体制が必要になってきています。



私たちクリナップは、商品をご購入いただいたお客さまとのコミュニケーションを絶やさず、いつでも信頼していただけるサービスのご提供を目指しています。

### ■ 長期間にわたってお客さまをサポートする「スマイル20」

水まわり設備は、お客さまの喜びや笑顔のある暮らしを支える「道具」です。しかし、道具である以上、日々のお手入れ、定期交換が必要な消耗品の補給、年月を重ねることで劣化してゆく部品の交換などが必要となってきます。

しかし10年後、20年後まで、機能や性能を維持してゆくことは、そう簡単なことではありません。いつ頃、何をすればいいのかかわからないこともあるでしょう。

そこでご用意したのが、クリナップ20年サポートプログラム「スマイル20」です。機能・性能を維持してゆくためのメンテナンス情報をご提供するとともに、それに必要なサポート体制を整え、お客さまの「喜び」「笑顔」をお手伝いいたします。



# コーポレート・ガバナンス

## ■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

クリナップは、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、以下の基本的な考え方に基づき、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組んでいます。

- (1) 株主の権利を尊重し、株主の実質的な平等性の確保に努める。
- (2) ステークホルダーとの適切な協働を図る。
- (3) 会社情報を適切に開示し、透明性を確保する。
- (4) 取締役会による業務執行機能を実効化する。
- (5) 株主との間で建設的な対話を行う。

## ■ 取締役会の役割・責務

取締役会は、経営方針や経営戦略の重要な意思決定を行う機関であると同時に、取締役の職務の執行を監督する機関として、月1回定期的に、または必要に応じて臨時に開催し、会社の経営に関する重要事項を審議、決議しています。

また、クリナップは執行役員制度を導入し、業務執行機能を執行役員に分離し、取締役会において執行役員の業務執行状況を監督しています。

## ■ 監査役会の設置

クリナップは、取締役の職務の執行を監査する機関として監査役会を置いています。監査役は、取締役会、執行役員会等の重要な会議、または委員会に出席するほか、会計監査人、法務・監査部と連携すると共に、監査役会を月1回定期的に、または必要に応じて臨時に開催し、取締役の職務の執行を主として適法性の観点から監査を

実施しています。

なお、当社の会計監査業務は仰星監査法人が実施しており、監査役は、会計監査人連絡会において監査の状況等の説明を受けています。

## ■ 独立社外取締役および社外監査役の選定

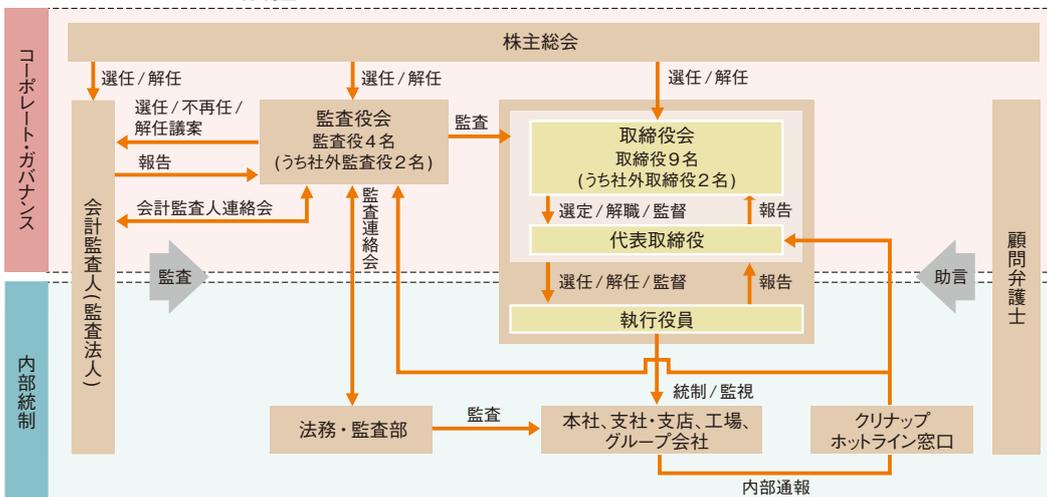
取締役会は9名の取締役(うち社外取締役2名)で構成されています。これは、変化するステークホルダーの期待に迅速に対応し、良好な関係を強化するためのものです。豊富な業務経験と当業界について専門的な見識を有した社内取締役と、それぞれの専門分野における豊富な経験と幅広い知見に基づき当社の経営の監督と助言を行う社外取締役が取締役会の構成員となることで、迅速かつ的確に業務執行の意思決定を行い、業務執行の相互監視と、外部からの経営監視を行うことが目的であり、現状の体制が当社に最も適していると判断したことによるものです。

また、社外監査役が、客観的かつ中立的な立場で取締役会に出席し、監査を実施しているので、外部による経営監視は十分に機能していると考えています。

## ■ 反社会的勢力への対応

クリナップは、2010年7月に「内部統制システムの整備に関する基本方針」に「反社会的勢力排除に向けた体制」を追加し、反社会的勢力に対しては毅然とした態度で対応することを定めました。また、当社グループの規程である「行動基準」において、反社会的勢力との係わりを一切持たないことを定め、これを社員に対して周知・教育することで、反社会的勢力の排除に向けた全社的取り組みを行っています。

■ コーポレート・ガバナンス体制図



## 内部統制／コンプライアンス／リスクマネジメント

## ■ 内部統制システムの整備

クリナップは2006年5月に「内部統制システムの整備に関する基本方針」を取締役会で決議しました。その決議に従い、コンプライアンス、リスク管理および内部統制の強化に向けて体制の整備に努めており、担当取締役および監査役が進捗状況を確認しています。

なお、p7に記述したとおり、2010年に「反社会的勢力排除に向けた体制」を追加し、2015年4月に「子会社の業務の適正を確保するための体制」の追加について取締役会で決議しており、必要に応じて適宜基本方針の見直しを行っています。

## ■ 内部統制の体制

内部統制の体制については、金融商品取引法による内部統制報告制度の開始に合わせて内部統制委員会を設置しており、全社活動として内部統制の整備および運用課題の改善に取り組むための体制を整備、維持しています。

また、財務報告に係る内部統制システムの整備および運用状況評価については、内部統制委員会の事務局を法務・監査部に置き、重要な事業所を選定し、評価しています。なお、統制活動に係る監査および評価の結果については、担当間で情報を共有し、内部統制報告制度のもとで一元的に取り扱っています。

## ■ クリナップの行動規範「行動基準」

当社グループは企業理念に基づき、ステークホルダーの期待に応えるための行動規範として、「行動基準」を2001年4月に制定しました。2006年8月には、「行動基準」の周知徹底を図るため冊子を発行し、「行動基準ハンドブック」として全ての取締役と社員に配付しています。また、当社グループ全社員への継続的な教育として「行動基準ラーニング」を2016年5月から実施し、コンプライアンス意識の向上に取り組んでおります。

内容については、必要に応じて適宜見直しを行っており、社会動向の変化や法令などの改正などを受け、2018年5月に「行動基準」の改正を行います。



## ■ お客さま情報の保護

お客さま情報の保護については、個人番号（マイナンバー）、個人情報、プライバシーに関する情報を保護する重要性を認識し、「個人番号および特定個人情報の適切な取り扱いに関する基本方針」および「個人情報保護方針」に従い、適切な管理体制のもとで取得、利用するとともに、紛失、漏えいを防止するための対応を行っています。

## ■ 内部通報制度「クリナップホットライン」

当社グループは、問題の早期発見と是正に対応するため、「内部通報対応規程」に基づき、通報者の保護を徹底した「クリナップホットライン」を運用しています。当社グループ全社員に周知するため、「クリナップホットライン」への通報に必要な情報、通報手段、通報者の保護などに関する詳細事項を「行動基準ハンドブック」に記載し、全社員に配付しています。

## ■ リスク管理体制

財務リスクの管理については、財務報告に係る内部統制システムの整備と運用状況の評価結果を取締役会に報告し、内部統制委員会を中心に措置を講じる体制を整備しています。

また、内部監査の指摘事項の管理については、「監査報告書」を作成して担当取締役および監査役に報告するとともに、被監査部門の担当取締役および部門責任者が是正、改善状況を確認し、報告する体制を整備しています。

さらに、製品安全、安全衛生、環境保全、情報セキュリティおよび雇用などの各部門の所管業務に付随するリスクの管理につきましては、担当取締役のもとに管理体制、規程類を整備し、発生の予防および拡大防止に努めるとともに、リスクの発生またはそのおそれがある場合には直ちに代表取締役に報告する体制を整備しています。

子会社については、業務の適正を確保するため「子会社管理規程」その他関連規程に基づき、子会社が当社の取締役会や社長承認を要する事項および報告する事項を定め、連携と統制を行うしくみを構築しています。

## 働きやすい職場づくり／人材育成

## ■ 新人事制度の考え方

クリナップでは、2006年4月に年功序列型から役割成果主義型へ移行する人事制度を導入しました。これは会社業績への貢献度に応じた評価・処遇を行うものでした。しかし2011年12月に社員満足度調査を行ったところ、社員の大半は、給与と雇用を確保する「安定」、そして仕事を通じて自己実現する「成長」を求めていることがわかりました。

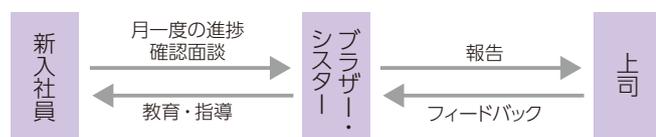
そこで2015年4月に「新人事制度」を導入しました。クリナップの人事制度の基幹は、役割グレードと職能等級の二本立てですが、その基幹は維持しつつ、社員の“働きがい”と“働きやすさ”を高めるために新人事制度を導入しました。改定されたポイントの多くは評価に関するもので、公正に評価し、評価に基づいて適切に育成していくことを目的としています。

新人事制度を導入して2年が経過したので、2017年12月にふたたび社員満足度調査を行いました。その結果、旧制度に比べて社員の満足度はおおむね向上しており、とくに「役割給（習熟方式）」の導入と、「転居を伴う異動者と単身赴任者」に対する支援強化の満足度は大幅に向上しました。

## ■ ブラザー・シスター制度

初めての社会人生活では困難なことも多く待ち構えているはずです。そこでスムーズに職場環境に慣れ、仕事に関するスキルを習得するため、当社ではブラザー・シスターと呼ばれる先輩社員が新入社員の指導にあたります。

仕事のみならず、日常生活における悩み、困りごとの相談相手としても、ブラザーやシスターがフォローしてくれます。



## ■ 職場内研修(OJT)と新入社員フォローアップ研修

新入社員研修後、各自配属先へ赴任となります。ここからが本格的な社会人生活のスタートと言えます。ブラザー・シスターの指導のもとで新入社員は成長していきます。

入社・赴任から約半年後に実施されるのが、新入社員フォローアップ研修です。各地へ配属となった新入社員が再度集合し、入社時から現在までを振り返り、現状の課題を整理した後、2年目に向けてのアクションプランを設定します。

## ■ コンプライアンス、ハラスメント

クリナップ社員の必須知識やコンプライアンス、ハラスメントなどについては、「クリナップマスターコース」という社内eラーニングの5講座の履修を義務づけています。またクリナップ社員の行動規範については、「行動基準」に網羅されており、コンプライアンス、ダイバーシティ、パワハラやセクハラなどの各種ハラスメントなど細かく指針を示しています。

ハラスメントに対しては内部通報制度があり、社内窓口と社外窓口（弁護士）という2つの窓口があります。

## ■ メンタルヘルス

2015年12月にストレスチェック制度が施行されました。クリナップでは、施行前からストレスチェックテストを実施していましたが、制度化したものではなかったため、施行を機に制度化しました。

毎年ストレスチェックテストを実施し、社員のメンタルヘルス不調の予防に努めるほか、月に80時間以上の残業をした社員については産業医に面談できる制度も設けています。

## ■ 研修制度（部門別、階層別）

部門別研修は、商品研修、営業研修、マナー研修、開発研修、生産技術研修などの各部門で必要な専門知識を深めるものです。

特色ある部門別研修としては、30年以上の歴史があるキッチン&サニタリーデコレーター研修（社内資格）があります。キッチン&サニタリーデコレーターとは営業・ショールーム・開発技術職を対象とし、建築知識、図面の読み書き、プレゼンテーション手法などキッチンやサニタリー商品に関する専門知識・技術の取得を目的としています。階層別研修には、新任部門長研修、新任管理者研修、マネジメント養成スクールなどがあります。

## ■ 自己啓発支援(CBS)と資格取得支援

自己啓発支援の名称は「クリナップビジネススクール(CBS)」です。eラーニングは、インターネット環境があれば、時間・場所に左右されず、パソコンやタブレット、スマートフォンから学習でき、ビジネススキルや語学、マーケティングなど約100講座用意しています。

通信教育は、全社推奨コース・部門別推奨コースを用意しており、自身の役割に必要な講座を選択できます。また、定められた期間内に受講した通信教育が修了すると奨学金が支給されます。

資格取得支援は、社員の自己啓発の支援を目的としており、幅広いスキルや専門知識・技能の取得を目指し、会社の定めた公的資格を取得した社員に対して資格取得のお祝い金を支給します。

## ダイバーシティ／労働安全衛生

## ■ 女性活躍推進と管理職登用

クリナップのダイバーシティへの取り組みは、女性視点を経営／ビジネスに取り入れることを目指し、女性活躍推進から始めました。2008年に本社から女性社員を委員として選出し、「女性活躍推進委員会」が設置され、課題の洗い出しが行われた後「女性活躍推進室」が組織されました。

「女性活躍推進室」は2009年に「女性活躍推進課」に改称され、翌2010年より、女性管理職の登用を推進してきました。

女性管理職比率は、女性活躍推進法が成立した2015年の末には1.7%、それから約2年半が経過した現在は3.8%となり、社外役員1名を含め女性管理職は12名。この1年間の変化では、社内女性管理職のうち2名が部長職になりました。また2017年に社員一人ひとりが能力を最大限に発揮することで社員の成長と、会社の成長につなげていくことを目指し「女性活躍推進課」(名)は「ダイバーシティ推進課」に改称され、活躍推進の対象範囲を広げていきます。



## ■ キャリア形成支援と両立支援

グループ企業を除くクリナップ単独の社員のうち、女性は約1/4です。その約半数が全国103カ所のショールームに勤務するショールームアドバイザーという職種です。

そこでショールームでのリーダー役の養成に取り組み、仕事への意欲を高める施策に取り組んできました。その結果、ショールーム所長が誕生し、多くのリーダーが育っています。また2017年4月に「コース転換制度」を新設しましたが、エリア社員からグローバル社員に転換し、係長に昇進するという事例も生まれています。

また、以前に比べて結婚や出産での離職者は減り、キャリア継続を選択する女性社員は増えています。いったん離職しても5年以内なら正社員として復職できる「カムバック制度」があり、積み上げてきたキャリアを継続していけるよう支援しています。

## ■ 労働安全衛生

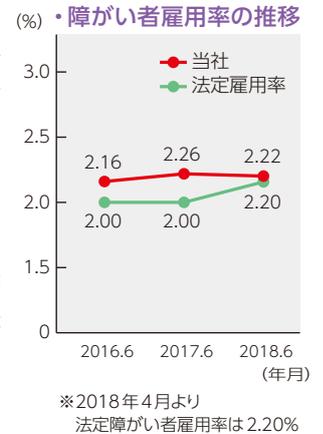
生産本部では「ワークライフバランスの実現」と「長時間労働による健康障害防止」を目的として、毎月4日以上ノー残業デーを実施し、労使一体となって取り組み、ノー残業デー取得率向上を図っています。

また、有給取得率向上施策として、取得率が低かったライン長・班長に対しマイバースデー休暇以外にアニバーサリー休暇2日の取得を促す施策を推進しています。

## ■ 障がい者雇用

クリナップの特例子会社として、社会に「自律」し、地域社会とともに「共生」できる会社を目指し2008年2月に設立したのがクリナップハートフル株式会社です。

障がいのある社員39名がおり、クリナップグループの施設管理業務や、データ入力、配送作業などの業務に従事しています。



## ■ 高齢者雇用

高齢者雇用については、50歳以上を対象とする「ネクストステップラン制度」があり、56歳時に定年前後の情報提供を行う場として「ライフプランセミナー」(社会保険の基礎知識など)を休日開催の自由参加として実施しています。そして59歳時には「定年退職ガイダンス」で、定年時の選択肢について説明を行っています。

60歳定年後も働きたいと考える人に設けられているクリナップの制度はふたつあり、ひとつは定年後再雇用制度です。これはクリナップグループ内で、再雇用希望者は職掌や職群に関係なく、クリナップグループの希望する職場を申し込みます。

もうひとつは社外転身です。クリナップグループ以外に就業機会を求める人のために、再就職支援サービスを行っています。希望者はこの制度を使って再就職することができ、50歳以上が利用できます。

## ・産休取得者数、育児休業取得者数

| 年度          | 2015 | 2016 | 2017 |
|-------------|------|------|------|
| 産休取得者数(名)   | 24   | 25   | 22   |
| 育児休業取得者数(名) | 41   | 46   | 37   |

## ■ 2018年度労働安全衛生方針の重点方策

毎年度、生産本部長より「安全衛生方針」にて「基本理念」、「基本方針」、「重点方策」が掲げられます。2018年度の重点方策は、「安全意識の高揚」、「機械設備および作業のリスクアセスメント最適化」、「快適な職場環境づくりの推進」の3点です。

機械設備と作業のリスクアセスメントはこれまででも実施してきましたが、想定リスクを超える受傷度合いの労働災害が2017年度に発生したため、再評価を行い最適化することにより類似災害の発生を防止します。

## 社会とのかかわり (1)

### ■ クリナップ財団と給付型奨学金制度

東日本大震災に被災し、操業停止の危機を体験したクリナップは、地域の方々に助けていただいたことに対する感謝の気持ちを社会に還元するため、東日本大震災の翌2012年12月に福島県内における被災地復興支援の一環として「公益財団法人クリナップ財団」の設立に寄与しました。

同財団の主な事業内容として奨学支援を行っており、福島県出身者で福島県内の大学、高等専門学校などに進学する、学業優秀で向学心旺盛ながら、経済的な理由により修学が困難な学生に対する給付型奨学金制度を設けています。

2018年度は40名に奨学金を給付しています。



授与式に参加した学生  
将来に期待です

### ■ ごんごまつりに協賛

クリナップは、2017年8月5-6日に開催された第39回「津山納涼ごんごまつり」に協賛しています。初日に岡山工場、津山営業所、鳥取営業所から過去最多の50名が参加し、おどり連を組みました。

参加メンバーは6月中旬から毎週2日の練習を行い、当日は津山市内の大通りを200メートルに渡り踊り歩きました。

今回は4回目の参加であり、メンバーの踊りの習熟度も上がってごんご(かっぱ)になりきって踊ることができましたが、審査結果は参加賞。メンバーは「来年は100名のおどり連で大賞受賞を目指す」と抱負を語っていました。



クリナップここにあり  
精鋭たちが集結いざ出陣

### ■ 工場での献血で 日本赤十字社銀色有功章を受章

いわき部門は、以前より福島県赤十字献血センターに協力し、工場での献血活動を行っています。これまでに約710名が献血に協力しています。2016年に日本赤十字社銀色有功章を受章しました。

### ■ 「クリ夫のパン屋」オープン1周年!

クリナップの特例子会社であるクリナップハートフル株式会社は、心豊かな食住文化を創るとともに、新たな障がい者雇用を創出するため、2016年11月1日にベーカリーショップ「クリ夫のパン屋」をオープンし、障がい者が働ける場を設けました。

店舗はクリナップの創業に由来した地(荒川区西日暮里)に新設し、菓子パン、惣菜パン、サンド類など、常時40数種類の商品を店内で焼き上げ、販売しています。

オープン1周年となる2017年11月1-2日には、焼き立てワッフルや特製アップルパイなどを特別販売する記念イベントを実施し、多くのお客さまで賑わいました。



クリ夫のパン屋は1周年

### ■ レスリング部

クリナップは1992年に「クリナップレスリング部」を創部し、スポーツ振興の一環として企業スポーツの運営に取り組んできました。現在も国内外で注目される選手たちが活躍しています。

2018年6月14-17日に、東京・駒沢体育館で行われたレスリング明治杯全日本選抜選手権で、レスリング部の皆川博恵選手が優勝し、明治杯7連覇を達成しました。また4月に入部した木下貴輪選手、塩川貴太選手も見事3位に入賞しました。



表彰台に立つ皆川選手  
(左から3番目)と  
プレゼンターの執行役員  
先崎 斎(左から4番目)

## 社会とのかかわり (2)

### ■ 料理アカデミー

おいしい暮らし研究所が中心となって、大学の寄付講座として提供したものに「キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー」があります。文化、健康、食育などをテーマに、講義と料理実習を行うもので、参加者からは「中味の濃い、質の高い諸先生方のお話が聴けて、楽しい半年間でした」、「料理だけでなく講義の勉強は久しぶりに新鮮で役に立ち、楽しく思った」などの声が寄せられました。

講義や実習の内容は、「キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー web分校」として公開しています。



### ■ おいしい暮らし研究所と「キッチン白書2018」

キッチンを通じた、楽しいふれあいの場づくりのために、食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っている研究部門が「おいしい暮らし研究所」です。

「キッチン白書2018」では「食の場（食事をする部屋、食事をする場所、食卓を囲む状況）」について調査し、分析結果を公開しました。男性が全世代で「ゆったり・のんびりできる空間」を支持したのに対し、女性は60代を除く全世代で「家族が集まる空間」を支持しており、男女の「食の場」に求める理想の違いが浮彫りとなりました。



### ■ 食育教室

クリナップは、料理をつくり、そして食べるという当たり前に思えることを、後世に伝えようと、全国のショールームを活用して食育活動を推進してきました。この取り組みによって、クリナップは2015年9月に農林水産省主催「第3回食と農林漁業の食育優良活動表彰」の企業部門にて『消費・安全局長賞』を受賞しました。

また全国のショールームアドバイザーの多くが、NPO日本食育インストラクター協会が認定する「食育インストラクター」の資格を取得しています。



### ■ 夏休みに小学生を工場見学会に招待

クリナップは2017年8月4日に生産拠点のある福島県いわき市内の小学生を招待し、工場見学会を実施しました。

今回の見学会では生産本部にほど近い、いわき市立四倉小学校の5年生を招待し、ステンレスをはじめとするさまざまな素材の加工や組み立ての様子を見学しました。特に、鹿島システム工場では、キャビネットを生産する工程を学習しました。

クリナップでは小学生を対象とした工場見学会は初めてで、児童からは『将来自分もクリナップで働きたい』と嬉しい言葉も飛び交い、短い時間でしたが子どもたちの夏休みの良い思い出づくりにもなりました。



生産工程を真剣な表情で見学する小学生

### ■ 「弁当の日」応援プロジェクト

「食」を通じて、いのちや生活の大切さを学ぶのが「弁当の日」です。「弁当の日」は2001年、香川県の滝宮小学校の竹下和男校長（当時）がはじめました。「お弁当」にかかわる献立作り、買い出し、調理、弁当詰めから、片付けまでを子ども自身がを行い、親も、先生もその出来映えを批評も評価もしないという約束です。

2018年4月現在、「弁当の日」実施校は全国で2,000校を超えるまでの広がりを見せています。クリナップもプロジェクトに参加し、2012年から本社近隣の荒川区立第六日暮里小学校の取り組みを支援してきました。



# 資材調達

## ■ 購買基本方針

お客さまに満足していただける商品とサービスを提供し続けるため、クリナップでは公平で自由な競争原理に立ち、より良い取引先さまと相互理解を深め信頼関係を大切にしていきます。

取引先さまの選定は、品質・価格・納期・技術開発力・安定供給力などの総合的な評価と適正な手続きにより行います。

### 購買基本方針

#### ■ 品質

キッチン・洗面化粧台・システムバスルームを主とする生産活動に於いて、顧客満足の上昇に努めるべく、取引先さまにも品質保証体制を確立していただき、品質維持・改善活動を継続的にお願いしております。

#### ■ 価格

お客さまが商品価格を評価します。取引先さまから提供していただく原材料・加工品は、クリナップ商品価格に大きな影響をおよぼします。市場競争に耐えうる部品価格であることと、継続的なVE活動を互いに努力し達成します。

#### ■ 納期

お客さまにご満足していただける納期で商品をお届けできるよう、取引先さまの納期対応と安定供給をお願いしております。また、クリナップは原材料・加工品の調達をお客さまのニーズに即応できるように、タイムリーで無駄の少ない調達（納期とロット）を基本としております。

#### ■ 環境

製造メーカーとして環境に配慮した商品づくりに取り組み、環境負荷低減を図ることが優先課題であると認識しております。資材調達に於いても優先的に環境負荷の少ない原材料・加工品の調達に努めており、取引先さまにも協力をお願いしております。

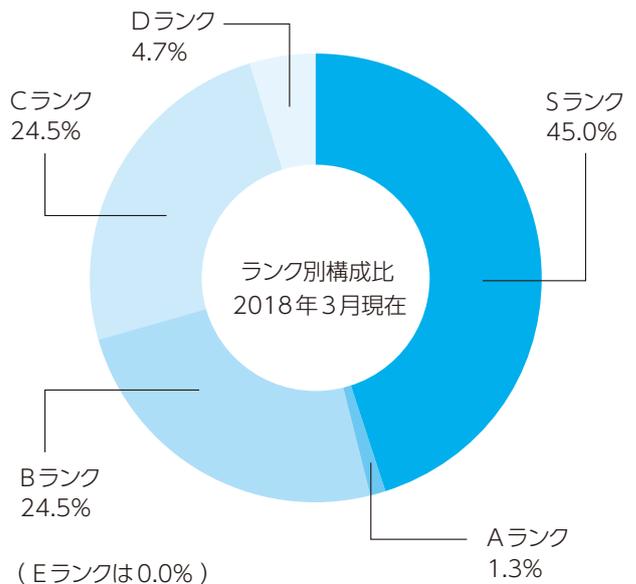
2018年4月1日現在

## ■ 環境に配慮した資材調達

資材調達では、グリーン調達のアンケート調査を行い、必要な場合は現地調査も行います。環境への取り組み状況、経営者の責任意識を調査して、SからEまでの6ランクに分けています。そして取引先さまをCランク以上に維持できるようD、Eランク企業の格上げ支援活動をしています。

具体的な指標としては各種の認証資格があり、ISO14001の認証取得企業は高く評価しています。このような認証ガイドラインとしてよく知られているものとして環境省が策定した「エコアクション21」があり、この認証を取得した企業も高く評価しています。

### ・環境取組企業ランク構成比



|               | ランク | 環境取組企業レベル | 意味   |
|---------------|-----|-----------|--|
| グリーン調達<br>の指標 | S   | 高度レベル     | ISO14001 認証取得企業であり、環境保全活動が投資を含めて積極的に行われている企業 |
|               | A   | 上級管理レベル   | ISO14001 認証取得企業であり、環境保全活動が積極的に行われている企業       |
|               | B   | 中級管理レベル   | 管理体制はおおむね構築されており、省エネ・省資源活動を積極的に取り組んでいる企業     |
|               | C   | 初級管理レベル   | 管理体制はやや構築されており、可能な範囲で省エネ・省資源活動に取り組んでいる企業     |
|               | D   | 指導レベル     | 管理体制はやや構築されているが、省エネ・省資源活動の取り組みが遅れている企業       |
|               | E   | 重点的指導レベル  | 管理体制の構築、および環境保全活動が全般的に遅れている企業                |

クリナップによる取引先さまD、Eランク企業の格上げ支援活動（環境活動の具体例を提示し、意識づけを行う）

取引先さまCランク以上を維持する

# クリナップのモノづくり

## ■ クリナップの目指すモノづくり

座卓という家族の団らんを象徴する製品から始まったクリナップは、革新的なアイデアや技術によって生活者の暮らしに寄り添ってきました。

これからもクリナップは“キッチンの専門メーカー”として、キッチンの役割と大切さを考え、「キッチンといえばクリナップ」と思っただけのように努力し続けます。

## ■ システムキッチンの名付け親

1973年にクリナップは日本ではじめて「システムキッチン」という商品アイデアを生み出し、発売しました。この「システムキッチン」という呼称の名付け親はクリナップでした。



日本初のシステムキッチン

いまでは日本のキッチンを表す普通名詞として一般化しています。

## ■ 業界初を目指す商品開発

クリナップは業界をリードする多くの商品を生み出してきました。1983年には日本独自の簡易施工型システムキッチン「クリンレディ」を発売。1999年に「フロアコンテナ」搭載のシステムキッチンを発売しました。これは足元のデッドスペースを有効活用し、大容量の料理道具をすっきり収納するもので、業界標準の商品形態になりました。2005年には静かさと清潔を追求した「美・サイレントシンク」を発売。2007年にはレンジフードのフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」を発売しました。



初代クリンレディ

2015年にはシンク内のゴミの広がりや汚れを最小限にする「流レールシンク」を発売し、それまでのシンクの常識を一変しました。この技術は洗面化粧台の「流レールボール」やシステムキッチンの「人工大理石」シンクにも使われています。



1999年発売の「フロアコンテナ」搭載のシステムキッチン

## ■ 機能やデザインを支える素材と加工技術

クリナップ独自の素材と加工技術が、さまざまな商品機能やデザインを支えています。なかでもステンレスの化学発色 (INCO法) による高度な表面処理加工技術により高い意匠性を実現しています。

また、親水性コーティングの技術、浴室や洗面ボールに応用するアクリル系人工大理石の成型技術は高く評価されています。



ステンレス加工・加飾技術

## ■ ステンレスにこだわる理由

クリナップがキッチンの材料としてステンレスを使う理由は、ステンレスが次のような特長を持っているからです。

- 特長その1** サビにくく、熱や薬品にも強い。
- 特長その2** お手入れ簡単。未永く使える耐久性。
- 特長その3** 有害なホルムアルデヒドが発生しない。
- 特長その4** リサイクル率が80%以上と高く、地球にやさしい。

クリナップのステンレスシステムキッチンは、この特長を最大限に活かした製品です。



システムキッチン ステンレスキャビネット



洗面化粧台  
ステンレスキャビネット

## ■ ステンレスがサビにくい理由

ステンレスは鉄にクロムなどの金属を混ぜ合わせた合金です。鉄だけでは腐食してしまいますが、ステンレスに含まれているクロムが空気中の酸素と結びついて「不動態被膜」というバリアーをつくります。

この「不動態被膜」によって塗装などをしなくてもサビにくい強い金属になるのです。また「不動態被膜」は表面が傷ついても自然に再生するので、ステンレスは耐久性が高い素材として評価されています。

# 業界初のアイデアと技術 (1)

## ■ フロアコンテナ

### ■ キッチンの新常識「フロアコンテナ」

クリナップが最初に開発し、日本のキッチンを変えたのがこの「フロアコンテナ」です。

以前のキッチン収納は「観音開き」や「引き戸」が主流でした。ものをしまうだけでなく使い勝手のよいキャビネットとして、さまざまなキッチンアイテムを使用頻度と使う場所によって分類収納する形態が「フロアコンテナ」です。

### ■ 人間工学に基づいたキャビネット思想

クリナップのフロアキャビネットは人間工学に基づき、よく使うものは「ハンドエリア」に、使用頻度が低いものは「フロアコンテナ」に収納します。また、加熱・切る・洗うなどの作業別に必要なアイテムはキッチンのスペース別に分類し、無駄なスペース、無駄な動きが少ないので体への負担も軽減されます。

たとえばシンクキャビネットの上部は「ハンドエリア収納」スペースになっており、ボールやザル、包丁など使用頻度の高い調理器具を収納し、下段のフロアコンテナはキッチンのお掃除用品や日用品のストックなどを効率よく収納できます。



### ■ フロアコンテナ

足元のデッドスペースを有効活用するために開発された収納です。置き場所に困りがちなストック品や使用頻度の低い道具をスッキリと収納できます。



背の高いストック品も立てながらたっぷり収納することができます。



フロアコンテナの下には適度なすき間があるので、キッチンマットが使用できます。



前板の下部はアルミ製なので衝撃や薬品に強く、床の掃除も気兼ねなくできます。



扉の裏側に、ラップや小瓶の収納に便利な小物ポケットを付けました。

## ■ 使いやすく、取りやすくするための工夫

### ■ サイレントレール

引き出しが静かに閉まるダンパー機構を搭載しています。閉まるときの衝撃を和らげ、静かに閉まり収納物へのショックを抑えます。



### ■ フルエクステンションレール

大容量で上からサッと出し入れできます。

奥行きすべてを引き出せるので、奥のものも簡単に出し入れできます。



# 業界初のアイデアと技術 (2)

## ■ 流レール シンク

### 流レール シンク

レールがキレイをお手伝い  
(特許・意匠登録済み)

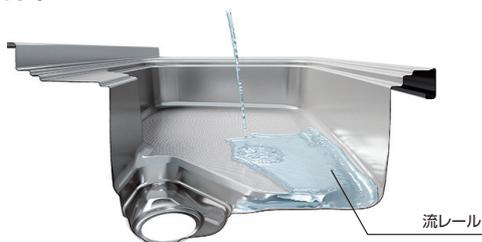
シンクを流れる水を科学して誕生した「流レールシンク」は、調理中の野菜洗いや、後片付けの食器洗いの水の力で、シンクの中のゴミをどんどん排水口に向けて流してくれる、おどろきの新機能シンクです。



## ■ シンクのキレイをお手伝い

### ■ 新発想の「流レール」が生み出す水流

お料理中などに使う水が、ゴミや汚れを手前の「流レール」に集めながら流れます。「流レール」に入ったゴミは水流に押されて排水口に集まるしくみです。調理中からシンクをキレイに保つ便利な機能です。



### ■ 「クリン網カゴ」も、継ぎ目のない一体成形

ゴミを受けとめ、汚れがちな網カゴも、もちろんステンレスの一体成形です。シンクや排水口同様に美コートが施されているので、汚れを落としやすく、とっても清潔です。

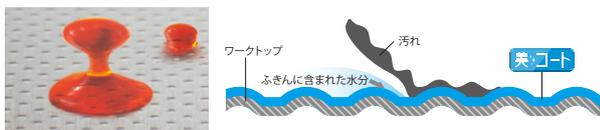


とっても  
クリン+排水口



### ■ 美コート (親水性のセラミック系特殊コーティング)

水に馴染みやすい親水性のセラミック系特殊コーティングが美コートです。汚れの下に水が入り込み、汚れを浮かします。油汚れ、水アカなどの落ちにくい汚れも落としやすくなりました。



※美コート (親水性のセラミック系特殊コーティング) は当社試験条件で10年相当の耐久性を確認しております。

### 油汚れの水洗い比較

左: 実際のご家庭でお手入れをせずに1週間使用したクリンプレート



右: 油汚れを水洗いしたクリン網カゴ

### シンク全体をカバー

排水口部分まで含めて全面に美コート加工。シンク全体を美しく保ちます。



### ■ シンクと継ぎ目がないから清潔な排水口

汚れやすい排水口をシンクと一体成形、継ぎ目がないのでお掃除がスムーズです。

### ■ クリンコーナー (OPTION)

流レールシンクの排水口にジャストフィットするクリンコーナー、ステンレス製+「美コート」で汚れを落としやすく、簡単なお手入れでいつもキレイです。したたり落ちる汚れた水分は、そのまま排水口に入るのでシンクに広がりません。



# 環境方針／環境保全活動推進体制

## ■ 基本的な考え方

クリナップでは企業理念「家族の笑顔を創ります」のもと地球環境との共生を図りながら、持続可能な社会の実現のために、CO<sub>2</sub>排出量や廃棄物の削減、化学物質による汚染防止対策、環境配慮型商品の開発など課題を挙げて環境活動に取り組んでいます。

すべての生産工場においてISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築、運用しています。

また、環境方針を制定し、全従業員に浸透させるとともに各部署が方針に基づいた目標を設定し、環境活動を推進しています。

## ■ 環境方針

### 環境方針

1. 事業活動および製品づくりにおいて、環境に負荷を与える環境側面を常に認識し、環境負荷の低減に向け自主的かつ積極的に環境目標を設定およびレビューし、技術的および経済的に対応可能な範囲で実施し維持することで、継続的改善を行います。
2. 関連する環境法規および当社で同意するその他の要求事項を順守し、汚染の予防を図り、環境保全の向上を行います。
3. 環境に配慮した製品づくりを行います。  
省エネ機器の導入、室内空気汚染物質の低減、リデュース・リユース・リサイクルの推進、グリーン調達などの積極的な活動と促進を行い、環境への負荷が少なく安全に配慮した製品づくりを行います。
4. 事業活動の中での環境負荷の低減を行います。  
CO<sub>2</sub>排出量・廃棄物の削減、省資源活動の推進を行い、常に環境にやさしい事業活動を行います。
5. 全従業員の環境保全意識の向上を図り実効性の高い環境活動を実践するため、環境教育、環境啓蒙活動を行います。
6. ステークホルダーとのコミュニケーションの充実に向け、社会・環境報告書の発信および地域奉仕活動を行います。

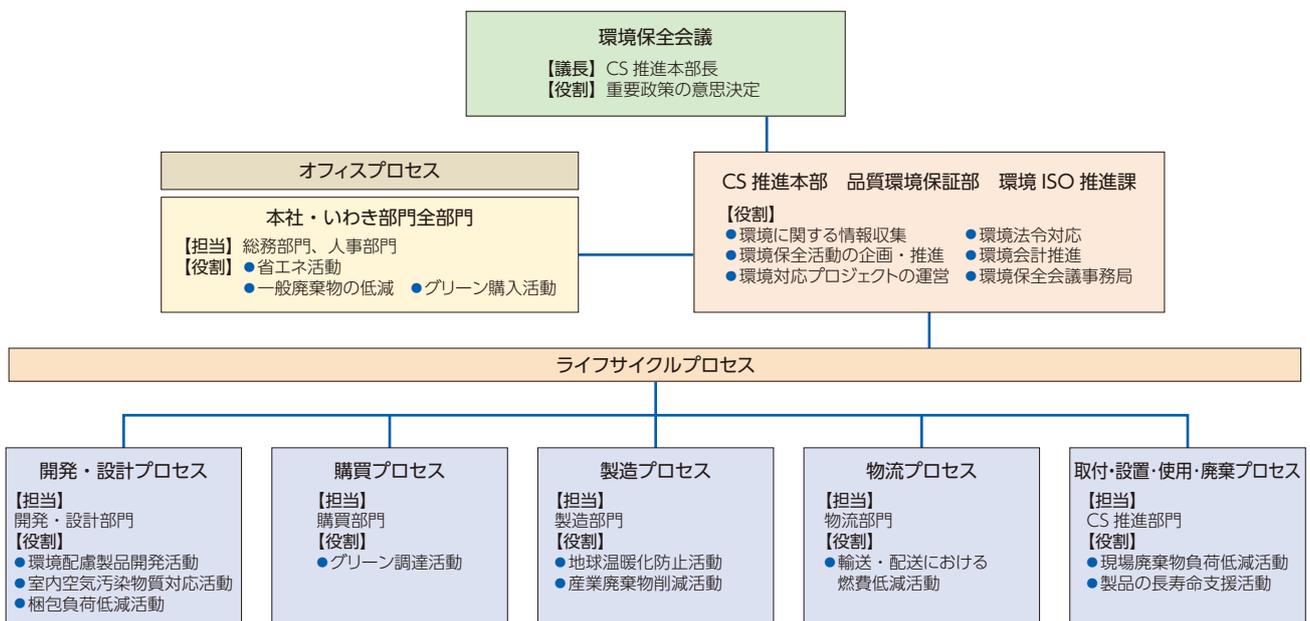
2018年4月1日現在

## ■ 環境保全活動推進体制

クリナップの環境保全活動に対する全社的な意思決定を行う会議体として、今後の方向性の決定や環境中期計画の進捗状況などを報告・確認する「環境保全会議」があります。

2017年度の「環境保全会議」では、幅広いテーマを審議し、「事業活動の中での環境負荷の低減」や「環境に配慮した製品づくり」を目的として取り組んでまいりました。

今後も地球温暖化対策をはじめとする地球環境問題への対応や、環境に配慮した製品づくり、廃棄物の削減やリサイクル化を進め循環型企業を目指すなど、環境活動を通じ社会に貢献してまいります。



# 環境活動(1)

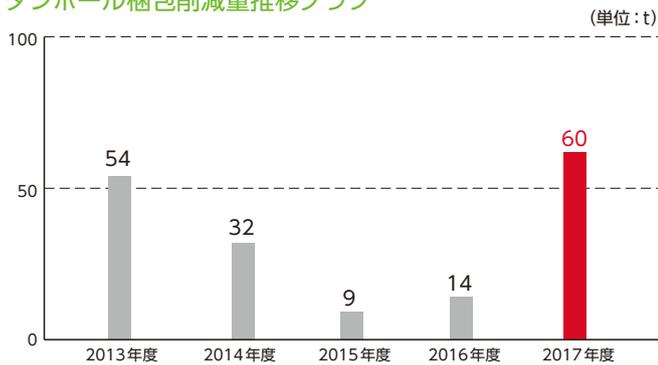
## ■ 省資源への取り組み「リターナブル梱包」

システムキッチンのワークトップ梱包によく使われるのは使い捨てダンボールです。しかしクリナップは、取付・設置現場での廃棄物対策として、製品納入後に回収し、何度でも繰り返し使えるように設計されたリターナブル梱包を積極的に使い、ダンボール梱包削減に取り組んできました。

2003年からハウスメーカー向けワークトップ用リターナブル梱包の全国展開を開始し、2004年に東日本地区のハウスメーカー以外の現場への導入を行い、2005年に全国展開を完了しました。

その後、リターナブル梱包が新製品の形状に適応できなくなり、2016年に新タイプのリターナブル梱包の開発を行い、導入しました。その結果、順調にダンボール梱包削減量が増えてきています。

ダンボール梱包削減量推移グラフ



出荷時のリターナブル梱包



回収時のリターナブル梱包



回収したリターナブル梱包は清掃して再出荷

## ■ キッチン壁パネルへの「シュリンク梱包」導入

シュリンク (Shrink) とは、「収縮」という意味です。キッチン壁パネルを透明フィルムで覆い、シュリンク梱包機に通して加熱するとフィルムが縮んで製品を密封加工します。

2017年2月より導入の検討を開始し、社内試験を繰り返して品質確認を実施しましたが、フィルムの破れが発生しました。要因は、フィルムの膜厚が薄いためコストによるものと推測しました。そこで、フィルムの厚みと材質の変更を数回繰り返し、破れの問題を解決することができました。

再度、品質確認を実施した結果、新たな問題として緩衝材の破損が発生しました。今度は、緩衝材の形状を数回変更して確認を行い、ようやく求めるレベルの水準の確保をすることができました。その間の検討期間として、約1年の月日を要しました。

2018年3月に鹿島システム工場へキッチン壁パネルのシュリンク梱包機を設置し、運用を開始しました。これにより、月当たりのダンボールの削減量は30トンにおよびます。

今後は、シュリンク梱包を他製品にも導入できるように検討を行い、ダンボール梱包を更に削減する活動を行ってまいります。



シュリンク梱包機

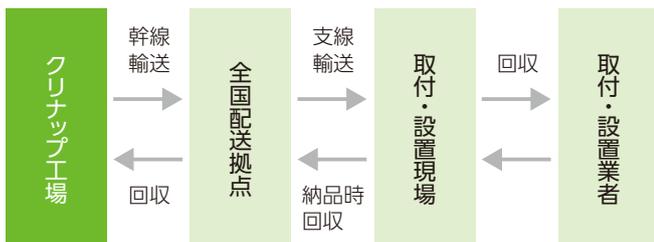


導入前 ダンボール梱包



導入後 シュリンク梱包

## リターナブル梱包回収のしくみ



## 環境活動(2)

## ■ 協同配送で環境負荷低減

クリナップは物流分野の環境負荷を低減するためにグリーン物流に取り組んできました。その成果のひとつが、経済産業省・国土交通省の「2015年度 グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰」の「経済産業省 商務流通保安審議官賞」を受賞したクリナップとTOTO 株式会社さまの協同配送です。

この協同配送は2015年12月にスタートしCO<sub>2</sub>排出量削減による環境負荷低減に寄与しています。

## ■ 湯本工場クレート第二製造課の2直ラインを1直化してエネルギーを削減

クレートとは「クリナップ」「レジン(樹脂)」「テクノロジー」という意味を含むクリナップの造語です。

クレート第一製造課は、人工大理石製品製造の前工程(成型)、クレート第二製造課がその後工程(形状加工)を行っています。

クレート第二製造課には3つの組立ラインがあり、2直での生産を行っていました。組立ラインの1ラインについて、作業者の動線や設備の配置を見直し、約400件におよぶ改善を行い、2017年6月に1直としました。

ラインの稼働時間が半減したことでエネルギー使用量の削減にもつながっています。



湯本工場クレート第二製造課の製造ライン

## ■ CPSとバリューエンジニアリングを追求してコスト削減

ラインの1直化とともにクレート第二製造課が取り組んだのが、ラインを統合して新しいラインを構築することでした。この取り組みには約500件の改善を行いました。このようなコスト削減の取り組みをVE(Value Engineering: バリューエンジニアリング)と呼びます。VEとは、顧客に提供する価値を最大化する体系的な手法です。「価値」を「機能」と「コスト」で計算式にすると、

価値(Value) = 機能(Function) / コスト(Cost) になります。製造ラインの合理化ではCPS品質改善、また仕損品

削減はQCなどでコスト削減に取り組んでいます。このようなさまざまな取り組みは環境負荷の低減につながります。

ラインの1直化、およびライン統合の省エネ効果は大きく、電力使用量を対前年比で約18%低減することができました。

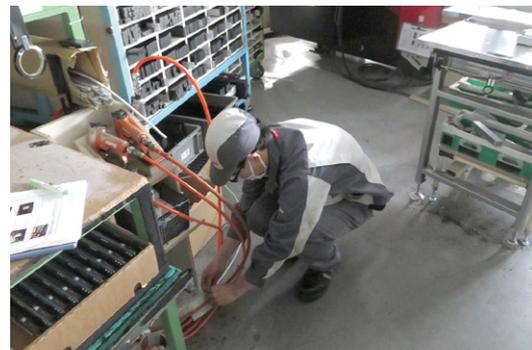


コンプレッサーモーター式の省エネタイプを設置

## ■ 省エネパトロールで意識改善

省エネパトロールは、しばらく活動が滞っておりましたが、一人ひとりの省エネ意識を高めることを目的として2016年度から再開しました。

省エネパトロールは、いわき工場群の製造ラインを中心として行っており、エネルギーの無駄を取り除き、こまめな省エネ意識を高める活動です。



エアリーク箇所の特典

## ■ 進化する省エネパトロール

2016年度の取り組みでは、不具合箇所を発見した場合は、札を貼り改善要求を行いました。是正されれば札を外すルールになっており、改善の状態がよくわかるしくみです。

この取り組みによって2017年度は是正がスピーディーになり、改善箇所も2016年度の152件から2017年度の117件と大きく減少しました。

しかしこれらは、「起こってしまった不具合」に対する対策です。そういう不具合が起こらないのが理想の姿です。そこで2018年度からは設備保全に力を入れています。定期的に設備機器を点検し、メンテナンスすることで、不具合ゼロを目指します。

# 環境教育・保安防災への取り組み

## ■ 環境教育・訓練

クリナップは、各部門で年間の環境教育・訓練計画を策定し、計画的に環境教育・訓練を実施しています。環境保全活動に必要な教育や訓練を社内規程で定めており、社内・社外研修へ参加し全従業員が環境保全活動に取り組めるよう人材育成を実施しています。

### ● 一般的な環境教育・訓練

全従業員に共通する環境保全活動に必要な教育や訓練として、省エネ、廃棄物削減、資源の有効利用、危険物取り扱い、避難訓練、消火訓練などを取り上げ定期的を実施しています。



消火訓練 (本社)



消火訓練 (本社)



避難訓練 (本社)

### ● 社内資格を与える環境教育・訓練

環境に著しく影響をおよぼすと思われる作業および活動に従事するおよ従業員を「特定業務従事者」として位置づけています。特定業務従事者には必要に応じ教育や訓練を行い、力量が一定の社内基準を満たした者に対し特定業務従事者として認定する制度を導入しています。中でも環境マネジメントシステムを一層充実させるため、またパフォーマンスの向上を図るため、内部環境監査員の養成セミナーを定期的を実施しています。

#### ● 特定業務の種類と2017年度までの認定者数

|                                       |      |
|---------------------------------------|------|
| ■ 産業廃棄物管理責任者                          | 177名 |
| ■ 特別管理産業廃棄物管理責任者                      | 41名  |
| ■ 危険物貯蔵・取扱業務従事者                       | 71名  |
| ■ 環境設備管理担当者<br>(大気・水質・騒音・振動公害防止管理者含む) | 152名 |
| ■ エネルギー管理者(電気)                        | 14名  |
| ■ 内部環境監査員養成セミナー修了者                    | 58名  |



内部監査員養成セミナー

## ■ 緊急事態への対応

クリナップは危険物類、廃棄物保管などの取り扱い、燃焼・汚水処理施設の運転や操作方法のミスによる環境汚染を予防するため、定期的に「緊急事態対応訓練」と称して実際の道具を使用した訓練を行っています。

今後も、施設や設備の点検を定期的に行い、事故の発生を未然に防止しながら、緊急事態発生に備えた対応訓練を継続していきます。

### ● 想定した緊急事態

- ボイラー、危険物類からの火災
- 化学物質の漏洩、地下浸透
- 廃棄物(木くず、樹脂、金属の削り粉)の飛散



消火訓練  
(いわき)



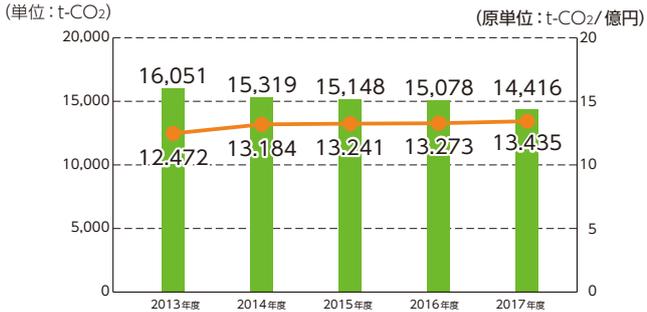
消火訓練 (いわき)

# 環境負荷の低減

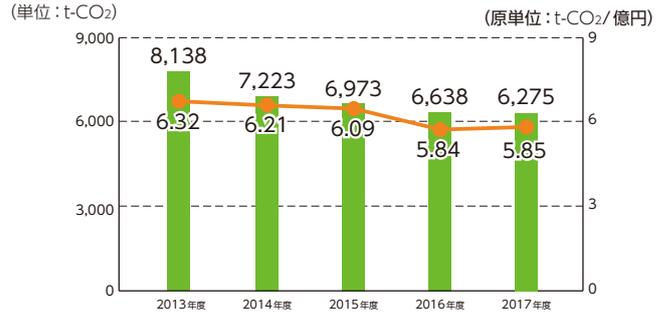
## ■ クリナップのCO<sub>2</sub>排出量と原単位推移

2017年度の結果は、2016年度と比較しますとCO<sub>2</sub>排出量は電気、燃料ともに総量では減少していますが、原単位では増加しています。

電気使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量と原単位推移グラフ  
t-CO<sub>2</sub> / 売上高



燃料使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量と原単位推移グラフ  
t-CO<sub>2</sub> / 売上高



❗ 電気のCO<sub>2</sub>排出係数は事業者別排出係数を使用しています。

## ■ ゼロエミッション※1への取り組み

クリナップの製造プロセスで発生する産業廃棄物は91%が木くず、5%が廃プラスチック類、残りの4%はその他が占めています。ゼロエミッションへの取り組みによって、現在の再資源化率は97%です。今後も再資源化率が向上するよう努力していきます。

木くずの再資源化処理推移グラフ



廃プラスチックの再資源化処理推移グラフ



その他の廃棄物※2の再資源化処理推移グラフ



※1 ゼロエミッションとは、環境負荷を低減するために廃棄物(emission)を再資源率 99%以上にする事としています。

※2 その他の廃棄物とは、ガラス・陶磁器くず、金属混合物、廃油、汚泥等です。

※3 各処分量は、マニフェストより算出しています。

※4 酸・アルカリ処理槽の汚泥を約20年ぶりに処理したため。

# 環境保全活動の沿革

クリナップの環境保全活動関係の実績をまとめました。

- |      |  |      |   |
|------|--|------|---|
| 1999 | ● 鹿島工場が環境管理の国際規格ISO14001の認証を取得   | 2006 | ● 空調の省エネとしてアースコンシャスを鹿島システム工場、クレート工場に導入  |
| 2000 | ● 第1次中期経営計画制定、全社環境保全活動を本格的に開始<br>● 鹿島工場HIPS樹脂部品の端材を他部品の原料として利用開始<br>● 使用木部材をホルムアルデヒド放散のもっとも少ないE0、Fc0に切り替え実施<br>● 全社アイドリングストップ運動を開始   | 2007 | ● 鹿島システム工場でESCO事業で導入した省エネ設備の運転開始<br>● 環境省の「チーム・マイナス6%」に登録参加<br>● クリナップロジスティクス株式会社が北海道便のモーダルシフト(船舶輸送)を開始<br>● グループ全体で省エネ効果のある仕事がしやすい服装「C-Biz」を開始                               |
| 2001 | ● 四倉工場、株式会社クリナップステンレス加工センター・鹿島アート工場がISO14001の認証を取得<br>● 環境保全活動の拡大に伴い、品質環境保証部から独立させた環境保全室を設置<br>● クリナップ研究所が環境計量事業登録<br>● 鹿島システム工場木くず端材用の焼却炉を稼働停止<br>● 鹿島工場FRP廃棄物を埋立処分から再資源化处理に移行<br>● ハウスメーカー向けのカウンター用のリターナブル梱包を導入、運用開始 | 2008 | ● 環境保全室から「生産統括部品質環境推進部」に組織名称変更<br>● 化粧パネル用リターナブル梱包をハウスメーカー向けに運用開始   |
| 2002 | ● クリナップ岡山工業株式会社がISO14001の認証を取得<br>● クリナップ本体を対象に環境会計を導入<br>● ボード供給メーカーと木くず端材の循環利用システムを構築、運用開始。同時に、容器包装系廃棄物の圧縮、再資源化处理も運用開始   | 2009 | ● 本社で高効率エネルギーシステムの運転開始<br>● 営業車を省エネカーとして軽自動車へ切り替えを開始<br>● 全国158台のPCサーバを137台に集約し、省エネ型に全面刷新<br>● 環境省より広域認定制度の認可を取得  |
| 2003 | ● 建築基準法改正に伴い、使用木部材をすべて建築基準法に定められた材料に切り替えることを決定<br>● 環境基本方針制定、第2次中期経営計画スタート<br>● 鹿島システム工場、湯本工場がISO14001の認証を取得<br>● クリナップ運輸株式会社がディーゼル車排ガス規制に対応   | 2010 | ● いわき部門が「福島議定書」事業のオフィス部門で最優秀賞を受賞<br>● 生産統括部品質環境推進部から「CS推進本部品質環境保証部」に組織名称変更<br>● 住宅部品表示ガイドラインに基づく基準適合の製品表示をキッチン、洗面化粧台全シリーズで開始<br>● 環境省の「チャレンジ25キャンペーン」に登録参加                    |
| 2004 | ● クリナップグループとしてISO14001の認証を取得<br>● カウンター用リターナブル梱包の活動が、福島県主催のゼロエミッション提案コンクールで優秀賞を受賞<br>● キャビネット用リターナブル梱包をハウスメーカーへ試行、運用開始   | 2011 | ● 全社的二氧化碳素削減方針として「CO <sub>2</sub> 排出量を2020年までに2009年度対比12% (約3,000t)削減」を発表<br>● 電気事業法第27条への対応として大口需要家5工場と小口需要家2事業所の連携による輪番休業を7月1日から9月9日まで実施<br>● 日本最大級の環境展示会、「エコプロダクツ2011」に初出展 |
| 2005 | ● クリナップロジスティクス株式会社、クリナップ運輸株式会社、クリナップ岡山運輸株式会社がISO14001認証を取得。クリナップグループの物流部門がISO14001の組織に加わる<br>● キャビネット用リターナブル梱包をハウスメーカー向けに運用開始<br>● 省エネ推進スタッフ(電気対策WG、熱・燃料対策WG)を結成、運用開始<br>● 環境報告書の初版を発行                                 | 2012 | ● 環境省「緊急CO <sub>2</sub> 削減・節電ポテンシャル診断」を受診<br>● 「キッチンからecoしよう」をテーマに「エコプロダクツ2012」に出展  |
| 2006 | ● 機器用リターナブル梱包をハウスメーカー向けに運用開始<br>● クリナップ岡山工業株式会社津山工場がISO14001の認証を取得   | 2013 | ● 全社的二氧化碳素削減方針を省エネルギー法に準拠し前年比原単位1%削減に変更<br>● 「エコプロダクツ2013」に「キッチンお掃除学校」をテーマに出展   |
|      |  | 2014 | ● 「世界でひとつのエコキッチン工場」をテーマに「エコプロダクツ2014」に出展  |
|      |  | 2015 | ● 「グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰」受賞   |
|      |  | 2016 | ● ワークトップ・リターナブル梱包をリニューアル  |
|      |  | 2017 | ● 岡山工場でワークトップ・リターナブル梱包運用開始  |
|      |  | 2018 | ● 2015年版ISO14001の認証を取得<br>● 鹿島システム工場でキッチン壁パネルのシュリンク梱包運用開始   |

## 2017トピックス

▶2017年8月

面倒な換気扇掃除を解決し続けて10年  
「洗エールレンジフード」が累計販売台数20万台突破!

自動洗浄機能付き換気扇「洗エールレンジフード」が2007年の発売以来10年を迎え、数度のモデルチェンジを経て、累計販売台数20万台を突破しました。

わずか0.65ℓのお湯でフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」はこの間に2度のグッドデザイン賞の他、平成26年度省エネ大賞 経済産業大臣賞を受賞。ご使用いただいたお客さまからは「憂鬱だったお掃除から解放された!」「排水に油が浮くので掃除を実感できる」など、喜びの声も寄せられています。



累計販売台数20万台を突破した  
「洗エールレンジフード」

▶2017年12月

伊・プレミアムキッチンメーカー Valcucine ショールーム  
「Valcucine Tokyo」、12月18日に国内初オープン

クリナップは、システムキッチンの富裕層市場に向け、2017年9月に取引契約を締結したイタリアのプレミアムキッチンブランドValcucine(バルクッチーネ)の、国内初となる専用ショールーム「Valcucine Tokyo」を12月18日(月)、東京・南青山にオープンしました。富裕層のニーズに応えるべく作り上げたプレミアムキッチンを心ゆくまで堪能いただけます。当面はハウスメーカー・デベロッパーさまを対象に完全予約制で運営します。

住所：東京都港区南青山4-1-12 1階、TEL：03-3810-2555、Email：grp.valcucine@cleanup.jp



「Genius Loci」(ジーニアスロッジ)

▶2018年2月

## 匠の技が光る、新 ステンレスシステムキッチン「CENTRO」

構造体にステンレスを採用し、オールスライド収納や美コートワークトップなど、これまで培ってきた機能をさらに進化させ、トレンドデザインと融合させた「CENTRO(セントロ)」の受注を2月1日から開始しました。ものづくりへのこだわり「クラフツマンシップ(職人手作り)」アイテムとして、特徴的なデザインの「クラフツマンデッキシンク」や、日本美を追求した京友禅柄手塗り扉をラインナップしています。



匠の技が光る、新ステンレスシステムキッチン  
「CENTRO」

▶2018年2月

## 洗面化粧台「TIARIS」をリニューアル

洗面化粧台「TIARIS(ティアリス)」を2月1日にリニューアルしました。5年ぶりとなる今回のモデルチェンジでは、「ステンレスキャビネット」「流レールボール」を標準装備する機能性向上に加え、要望が多かった大間口への対応が可能になりました(規格間口750mm～1800mm)。

高級感があり、水晶のような美しい透明感が特長の“フォーツカウンター”は、繊細な大柄表現を施した2色を追加。上品さを備えました。また鏡にLED照明を埋め込んだ「ビテラスミラーキャビネット」が業界初登場。



美にこだわら  
フラッグシップ洗面化粧台「TIARIS」



## ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトの「CSR活動」では、ステーキホルダーの皆さまが関心をお持ちの詳細な情報を掲載した社会・環境報告書のweb pdf版をご覧ください。

[https://cleanup.jp/life\\_cycle/](https://cleanup.jp/life_cycle/)

## クリナップ株式会社

ホームページアドレス

<http://cleanup.jp/>

問い合わせ先 CS推進本部 品質環境保証部 環境ISO推進課

TEL.0246(34)0216 FAX.0264(34)7607

Eメール [grp.kanky@cleanup.jp](mailto:grp.kanky@cleanup.jp)



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

